

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区外幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

飲んで美味しく
料理のくし味でも大好評!



http://www.gyokuroon.co.jp

読者応答室

- 電話 03-6910-2201 (土日祝日除く 10:00-18:00)
- FAX 03-3595-6935
- ホームページ http://www.tokyo-np.co.jp/
- 購読お申し込み 0120-026-999 (1カ月定価税込み (朝・夕刊) 3250円)
- 配達・集金 お問い合わせ 03-6910-2556

イラク空輸情報開示

06年7月以降 米兵が67%

政権交代で判断

防衛省は情報公開法に基づき、航空自衛隊がイラクで行っていた空輸活動を記録した「週間空輸実績」を請求者に開示した。陸上自衛隊が撤収した二〇〇六年七月以降の空輸活動で、昨年、名古屋高裁が憲法違反とした首都バグダッドへの米兵空輸を行っていた時期にあたる。前政権では中身が分からない黒塗りでの公開だったが、今回初めて全データが開示された。請求者は「政権交代の効果」と評価している。

防衛省、黒塗りから一転

開示された「週間空輸実績」は〇六年七月から空輸活動が終わった〇八年十二月までの百二十四週分。運航日数は四百六十七日あり、うち二百十八日、47%がバグダッド空輸に充てられた。

空輸した人数は二万六千三百八十四人。米軍は一万七千六百五十二人と推定されている。前政権で政府は「空輸は人道復興支援を行っている」と説明してきたが、復興支援を拒む国連職員に比べ、武力行使を伴った治安維持

政治の意思を示した北沢俊美防衛相の話。国民の知る権利を阻害する政治は本来の姿ではない。一定の軍事機密があることは承知しているが、政治の意思として国民にきちんと

「実績」の公表を求めた。開示されたのは「実施期間」「運航日数」のみで、あとは黒塗りされ、空輸の中身は不明のままだった。これを不服として四回異議申し立てをしたが、三回は「防衛省・自衛隊の効果的な運用に支障が生じる」「関係国・関係機関との信頼関係を損ねる」との理由から不開示のままとなった。今回は七月に異議を申し立て、九月二十四日付の北沢俊美防衛相名の「現時点で不開示とする理由がない」との通知とともに

人を67%を占め、他国を担当する兵士の空輸の数が圧倒的に多いことがあらためて確認された。これは米軍などの「後方支援」にあたる。情報公開請求したのは岐阜県大垣市田町の近藤ゆり子さん(60)。過去六回、「週間空輸」に全面開示された。

新政権の検証不可欠

民主党中央 政権との違いを鮮明にできるか注目される。

衛隊によるイラク空輸時の小泉純一郎首相は活動の「週間空輸実績」が開示された。次の課題は、野党当時に反対していた自衛隊イラク派遣の再評価だ。「対米追従」が目立った前

イラク空輸 兵士、物資を空輸した。名古屋高裁は昨年4月、「他国の武力行使と一体化し、憲法9条などに違反する」として憲法判断を下した。政府は傍論部分の指摘で拘束力はないとド空港などイラクの空港に国連や多国籍軍の

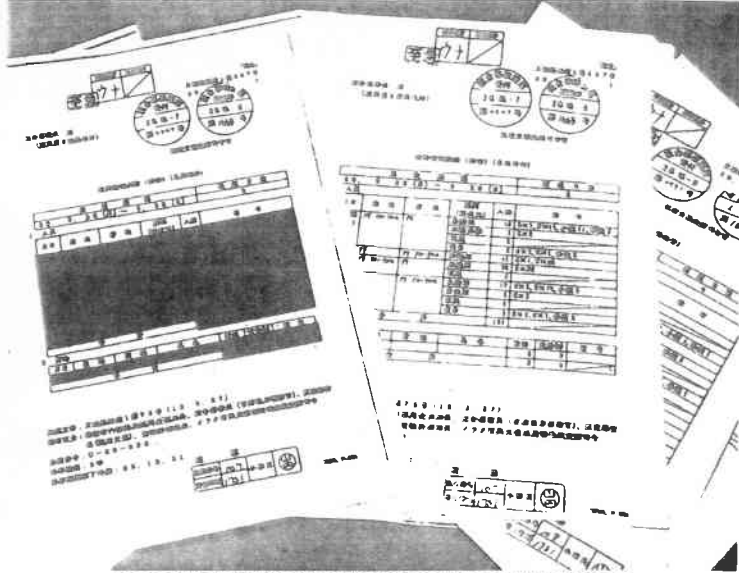
特別措置法に基づき、航空自衛隊のC130輸送機3機が2004年3月から08年12月まで、クウェイトを拠点にバグダッド空港などイラクの空港に国連や多国籍軍の

か(〇七年五月衆院イラク特別委)と政府社民党の辻元清美氏(現国交副大臣)は「人道復興支援というなら、黒塗りじゃないものを示してください」と。昨年四月、名古屋高裁がイラク空輸について違憲判断を示した際、「判決は乱暴だ。バグダッドにも非戦闘地域はあるし、輸送機

から降りた米兵がそのまま戦闘に加わるわけでもない」と反論した。公開された「週間空輸実績」だけでは、この反論の適否は分からない。幸い検証の材料になる自衛隊の資料は新政権の手にある。鳩山由紀夫首相が目指す「対等な日米関係」の構築には、安保政策の検証が不可欠だ。(編集委員・半田滋)

「全部黒塗りです。これで私たちがシリアアンコントロールを果たすことができるの」民主党的原口一博氏

空自イラク活動全面開示



開示された「週間空輸実績」等と黒塗りのある過去の開示分

米兵40人が銃80丁携帯

中身不明の「貨物」「木箱」

米軍のための空輸、鮮明

国連空輸のピークは要員交代の半年に一回、米兵空輸は年中無休。防衛省が開示した「週間空輸実績」から航空自衛隊によるイラクでの空輸活動の全容が判明した。首都バグダッドへの定期便は、活動終了の十カ月前に週二便から三便に追加。最終は米軍のための空輸活動となった。(○面参照)

「週間空輸実績」に、部のアリ基地へも飛行する空自のC-130輸送機はクワエートのアリ・アルサレム基地を拠点に月曜日にバグダッド空港、水曜日にバグダッドを経由してイラク北部のアルビルへ行く国連のための定期便があり、ほかに週一日から三日、同南

政治に変化の兆し
情報公開請求した近藤ゆり子さんの話、イラク空輸活動が情報公開され、昨年四月、名古屋高裁で認定された通り、(兵員輸送が多)憲法違反が裏付けられた。イラク特措法に反対した政党が中心の政権となり、政治に変化の兆しを感じる。

派遣の総括求める
名古屋イラク訴訟弁護団の川口創弁護士の話、イラク派兵の本質が米軍などの軍事作戦の一環だったと判明した。鳩山政権には、小泉政権で進められたイラク戦争支持とイラク派兵の総括を求め、国際貢献＝自衛隊の構図を改めるよう期待する。

部のアリ基地へも飛行する空自のC-130輸送機はクワエートのアリ・アルサレム基地を拠点に月曜日にバグダッド空港、水曜日にバグダッドを経由してイラク北部のアルビルへ行く国連のための定期便があり、ほかに週一日から三日、同南米軍(一万七千六百五

ほとんどの便に米兵が搭乗。バグダッドや隣接するファルージャで武装勢力と戦っていた陸軍のほか、海軍、空軍、海兵隊も利用した。搭乗した多国籍軍は米軍(一万七千六百五

十人)、豪州軍(八百六十六人)、韓国軍(百三十八人)、ポーランド軍(五十八人)、ルーマニア軍(二人)の順だ。ほか「関係国軍人(十三人)や米軍属、日本の外務省なども活用した。

弾薬の輸送は少ないと明記されているが、武装兵の輸送は禁止しておらず、武器輸送の「抜け道」として「持ち込み」が行われた疑いがある。米軍物資は極めて少ないが、一回の空輸は「米軍貨物」「米軍木箱」と記録され、中身が分からないまま空輸。「犬」もあり、武装兵の捜索に使った軍用犬とみられる。国連空輸は、二〇〇六年十月末から十一月初めにかけての二週間増えた。国連空輸のゼロが続くなかで、米兵は毎週二百人前後も搭乗し、米兵の大規模輸送が常態化した。

兵士が持ち込んだ小銃・拳銃は五十三百九十五丁で三人に二人は丸腰だったことになる。だが、米陸軍四十人が人数の二倍にあたる八十丁の小銃・拳銃を持って搭乗するなど、人数を上回る武器を持ち込むこともあった。

イラク特措法に基づく実施要項には「武器